

## 令和3年度「志教育」実践事例

宮城県本吉響高等学校

### 事例 「地域連携および地域交流」

#### <主な取り組み>

- ・春秋に行う地域花壇の植栽
- ・野菜・草花苗販売会、農産物販売会
- ・幼稚園や保育園での植栽・交流活動
- ・地域農業研修・農家見学

担当者 教諭 伊藤裕之, 教諭 高橋知樹, 実習講師 佐藤 善信, 実習助手 佐々木大明

#### 【活動内容】

本校では5月と11月の年2回、JR本吉駅前と本吉総合支所前の花壇に草花の植栽を行っている。1年を通して季節の花々が見られるように、春はマリーゴールドやサルビア、ジニアなどを丁寧に植栽し、秋にはハボタンを中心に地元の方に親しまれるデザインを考案し活動している。利用する方々にも親しまれ、植栽中も声をかけてくれる。また、駅や支所を利用したときに除草など簡単な手入れをしてくれる方もいる。

6月には地域農業研修として、南三陸町にあるしいたけ栽培施設「株式会社椎彩杜」の見学・研修を行った。株式会社椎彩杜は、東日本大震災で施設のほとんどが被災したが、地元の復興と雇用のために震災後すぐに立ち上がり地域の復興のために力を注いでいる会社である。しいたけの栽培を中心に加工品の製造・販売をしている。常務取締役の高橋さんには、生徒に復興までの道りを丁寧に話され、様々な問題があったが一つ一つ解決して震災から10年経過してやっと震災前の規模に戻ったと切実に話され、生徒に強い意志があれば頑張れるということを教えてくれた。施設見学では、しいたけの栽培の様子だけでなく、温度と湿度の調整の難しさなどをわかりやすく説明いただき授業では学べないことを生産者から直接学ぶことができた。

また、12月には本校の水田で農業機械を多く扱う「株式会社五十嵐商会」の主催で、スマート農業研修会に本校農業選択生徒と工業選択生徒が参加した。研修会には地元農家の方々も多く参加し、大型トラクタやGPSと連携した最先端トラクタ、自動運転の草刈り機などを説明・実演、試乗させていただき、最先端の技術に実際に触れることができた。生徒もいつもより真剣に緊張した面持ちで操作していた。

これらの行事をとおして、地域の方々とコミュニケーションを持つことによって、本校への期待度を肌で感じることができ、気仙沼地域を深く知ることができている。このように校外での農業学習・体験をとおして社会性や自主性を身につけながら地域との連携を深めている。

今年度は、コロナ禍ということもあり、事前の宣伝なしで、人数を制限しての「野菜・草花苗販売会」だったが、保護者や卒業生など地域の方に温かい言葉をかけていただいた。今年も11月初旬の「もとよし産業まつり」では農産物販売を通して多くの方とふれあう機会だが、コロナ禍のため中止となってしまった。また、幼稚園と保育園との交流会も中止した。



しいたけ栽培施設の見学



椎彩杜の復興状況の説明



本吉駅前花壇植栽



本吉支所前花壇植栽



入場制限での野菜・草花苗販売



スマート農業研修会